

さぁ、どうしよう！中学校生活編【ケータイ問題から】

愛知県扶桑町立山名小学校 養護教諭 桑原朱美

授業の意図

携帯電話はいまや、小学生にまで普及しつつある。しかし便利な道具であるはずの携帯電話がからんだトラブルは、事件に発展しないまでも日常の中で多く起こっている。特に最近のインターネットやメール機能の充実は新たな問題を引き起こしている。

この授業の前にとったアンケート（5,6年生94名対象）では、63%の子が「ほしい」と思っていることがわかった。また、子ども達が携帯電話についてさまざまな意見やイメージを持っていることや、多くの子ども達は、「中学生のほとんどが携帯電話を持っている」というイメージを持っていることなども明らかになった。そこで、「さぁ、どうしよう！シリーズ 中学校編」では、携帯電話のトラブルを中心に、中学校の先生から話を聞き、現在の中学校のようすを知る。急速に広がる携帯電話は、人々の想像をこえた使い方がされていることがトラブルや事件を引き起こしていることから、使用する人の責任の大きさが重大であることを理解させたいと考えた。

1 本時のめあて

- (1) 携帯電話が、発売当初、ずいぶん高価であったにも関わらず、急速に普及した点と、機能充実により、開発当初には予想もされなかった使い方がされるようになっていくことを理解する。
- (2) 実際に、どんなトラブルが起こっているのかを、GT（中学校の先生）から知り、携帯電話と上手に付き合うには、使う人のマナー・使用の目的・危険に対する意識がポイントであることを理解する。
- (3) 中学生という時期を迎えるにあたっての心構えを聞く。

2 学習過程

始めにゲストティーチャーの紹介とあいさつ

- (1) 高価なものであった携帯電話が、ここ数年、急速に普及したことについて考える。

(ショルダーホンの写真をみせる。)これって、何だと思う？

電話？

これは、携帯電話のルーツともいえるものです。肩に掛けて持ちあるいたので、「ショルダーホン」といいます。1985年ごろに登場しました。重さが3000gもあって、うまれたばかりの赤ちゃんと同じくらいだから、持ち歩くのも大変でした。携帯電話ということばが使われたのは、1987年です。それでも、まだ900gもありました。ポケットに入れると、破れちゃうよね。値段もすごく高かったから、ごく一部の人しか持っていませんでした。それでも、1992年には200gくらいまで小さくなりました。でも、値段はまだまだ高くて、大人の人でも、それほど持っている人は、いませんでした。今、携帯電話は、だいたい80gくらいです。

昔は重かったんだね。

さて、1993年のデータを見ると、携帯電話を持っている人は、わずか1.4%です。2002年の現在は、60%とも70%ともいわれています。つまりたった9年間の間に、60倍から70倍に増えたことがわかります。

また、携帯電話を持つ人も大人だけだったのが、今では、中学生や高校生も持つようになりましたね。小学生で持っている人もわずかですがいます。

短い間に、携帯電話を持つ人がすごく増えたんだね。

さて、ここで、問題です。たった9年間で、大人だけでなく若者にまで急速に広がった理由として考えられ

ることを、あげてみてください。

予想される意見

本体や通話料が安くなった・軽量化した・デザインがよくなった・メールができる・インターネットができる・着信メロディが楽しい・ゲームができる・チケット予約ができる・CMに人気タレントが出ている教師は、子ども達の意見を黒板に書く。

(2) 携帯電話はいままでにはない新しいタイプのメディアであり、だれも予想しなかった使われ方がされていることを理解する。

たくさんの意見が出ましたね。みなさんの意見のとおり、たくさんの理由があって携帯電話は一気に普及したのです。つまりひとことというのと、とっても便利でいろいろなことができるからあっという間に広がったんだね。そういう意味でも、携帯電話というのは、これまでにはなかったまったく新しいメディアなんです。テレビやラジオ・新聞などのメディアと違うのは数年の間にすごい進化をして、広がってきているということです。

ところが、新しいメディアが広がると、思っても見なかった使い方がされるようになります。さて、その辺のお話を、中学校の先生を交えて学習したいと思います。

中学校の先生に前に出ていただく。

GT

今、新しいメディアである携帯電話が急速に普及して、思いもよらない使い方がされるようになってきた、という話がありました。携帯電話が広がった理由とトラブルが起こるようになった理由は、深い関係があります。実際に起きた事件を紹介しながら、携帯電話の問題を考えてみましょう。

- ・出会い系サイトの事件
- ・不幸の手紙式 迷惑メール事件
- ・ワン切り事件
- ・うそメールで500人が集まった事件

【中学校のデータを見せて】

中学校では3割くらいの部の生徒が持っているだけなんだけど、いろいろなトラブルが、どこの中学校でもおこっているようです。あちこちの中学校でどんなことが起こっているのか、紙芝居で見せるね。

- ・メル友に会いにいった女子
- ・不幸の手紙で寝不足になった男子
- ・携帯によるいじめ、恐喝
- ・毎月2万円の通話料を使っている男子
- ・いつメールが入るか分からないからと肌身はなさずにいる女子 など

いやな出来事がおこってるんだな。

N先生、ありがとうございました。中学校でもたくさんのトラブルが起こっているようですね。中学生や高校生だけではなく、おとなでも、巻き込まれていることがあります、少し、紹介します。大人が取り付かされている例を紹介

新しいものが出てくるときは、必ずいい面と悪い面がありますが、これほどまでにいろいろな使われ方がされるとは予想できなかったのではないかと思います。そして、あまりにも、急激に携帯電話が広がったので、そのための対策がまにあっていないのです。

1月に行ったミニアンケートでは、5,6年生の65%の人が「携帯電話がほしい」と答えています。

楽しいこともたくさんできるし、みんながほしがる気持ちはよくわかります。でも、携帯電話は、おもちゃではないんだね。

今、N先生から聞いたように、携帯電話によって事件を起こす人、巻き込まれる人がいます。つまり、携帯電話を使うということは、重大な責任をいっしょに背負っているということなんです。

その責任は、使うだけでなく、それを売っている企業にもあるのです。

具体的にいうと、使用する人は、犯罪につながったりマナー違反をしないように注意しなければならないし、携帯を売っている企業は、犯罪やマナー違反を防止するような対策を考えなくてはなりません。

今の段階では、対策も遅れていますし、今後、さらに予想もつかないような使い方がされて新しい事件が起こる可能性はとても大きいと思います。未成年では、まだまだ判断力が弱い、責任が取れないということもあり、トラブルになき込まれやすいと思います。

中学生、という時期は、体も心もとても大きく変化する時です。

中学生生活をどうすごしたか？で人生が大きく変わってくると思います。それでは、中学校の先生からみなさんに、今のうちに伝えておいていただきたいことを、聞きたいと思います。